

# 未来の子どもたちに残したいマチへ

～マチごととエコタウン所沢構想～

## 概要版

### 目次

基本理念	1
望ましいエコタウン像	1
基本方針	2
構想の基本的事項	2
構想の構成	3
リーディングプロジェクト	4
構想の推進	7

所沢市

## 基本理念

### “人と人”、“人と自然”との絆で、未来と子どもを育む 所沢

◆「基本理念」のフレーズに込められた思い

#### 人と人

東日本大震災の経験の中から、私たちはお互いを思いやり、助け合い、励まし合い、それによって、生きていくことができる「絆」を実感しました。所沢市に住み、集う“人と人”が、この絆を大切に、一体となって紡いでいきます。

#### 人と自然

カブトムシやクワガタなどがいる森、ミヤコタナゴやホタルなどが自生できるせせらぎを守り、“人と自然”との関係を紡ぎ直し、自然と共生した地域社会を創っていきます。

#### 未来と子どもを育む

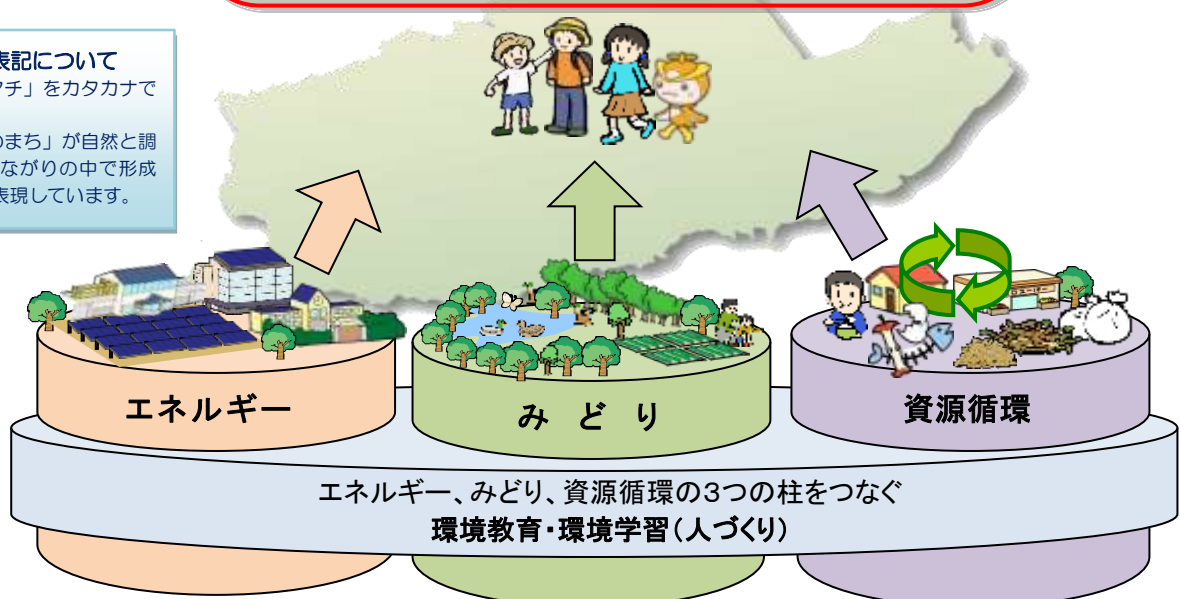
私たち一人ひとりがこれまでの生活を見直し、少々不便であっても、自然と共生できるみどり豊かなマチと心豊かな暮らしを、**未来の子どもたち**に自信と誇りをもって引き継いでいきます。

## 望ましいエコタウン像

人と人との絆や、エネルギー・資源の大切さ、何よりも、人は自然の中で、共に暮らし、生きていることを感じられるマチ、ホタルやカブトムシ、ミヤコタナゴなどがいる里山で、子どもたちが育まれるマチ、このような人と自然が調和した「未来の子どもたちに残したいマチ」を真のエコタウンとして目指します。

### マチごとエコタウン ～未来の子どもたちに残したいマチ～

「マチ」の表記について  
本構想では、「マチ」をカタカナで表記しています。  
これは、「所沢のまち」が自然と調和した有機的なつながりの中で形成されていくことを表現しています。



## 基本方針

### 基本方針Ⅰ

エネルギー資源を大切に、再生可能エネルギーを導入します。

《主な取り組み》  
まち全体への太陽光発電設備の設置  
建築物のエコ化、交通の低炭素化  
など

### 基本方針Ⅱ

人とみどりの関係を紡ぎ直し、みどりの保全・創出に取り組みます。

《主な取り組み》  
市民協働による里山の保全と活用  
公共・公益施設を利用したまちなかの  
みどりの創出  
など

### 基本方針Ⅲ

「もったいないの心」を大切に、ごみの減量・資源化に取り組みます。

《主な取り組み》  
「もったいないの心」の定着  
ものを大切にする行動の促進  
など

## 構想の基本的事項

### 構想の趣旨

この構想は、限りあるエネルギー・資源に過度に依存してきたライフスタイルの転換や、「もったいないの心」に基づき、ものを大切に使うといった基本的な人の生き方に立ち返るとともに、地域の貴重で豊かなみどりを守り育て、「人と人、人と自然との絆」を大切にする「エコタウン」を、みんなで築いていくための道しるべとするものです。

### 構想の位置づけ

この構想は、東日本大震災後の社会経済情勢の変化を踏まえつつ、これまでの計画を補完し、その目指すべき姿を実現するために、全市的・横断的・先導的に取り組むべき事項に焦点を絞って、その取り組みを深化、加速、具体化させていくためのものです。

### 構想の対象期間

構想の対象期間は、「第5次所沢市総合計画」の残りの期間を踏まえ、平成26年度から平成30年度までの5か年とします。ただし、エコタウンの実現には時間のかかる取り組みも多くあるため、施策の優先度や実現可能性に基づき、おおむね10年後を見据えた将来像を描いています。



## 構想の構成

### 第1章 構想の基本的事項

- |           |           |             |
|-----------|-----------|-------------|
| 1 構想策定の背景 | 2 構想の趣旨   | 3 構想の位置づけ   |
| 4 構想の対象範囲 | 5 構想の対象期間 | 6 所沢市の現状と課題 |

### 第2章 目指すべきマチの姿

#### 基本理念

“人と人”、“人と自然”との絆で、未来と子どもを育む 所沢

#### 望ましいエコタウン像

未来の子どもたちに残したいマチ

#### 基本方針

##### 基本方針Ⅰ

エネルギー資源を大切に、再生可能エネルギーを導入します。

##### 基本方針Ⅱ

人とみどりとの関係を紡ぎ直し、みどりの保全・創出に取り組みます。

##### 基本方針Ⅲ

「もったいないの心」を大切に、ごみの減量・資源化に取り組みます。

### 第3章 施策の展開

#### ■リーディングプロジェクト

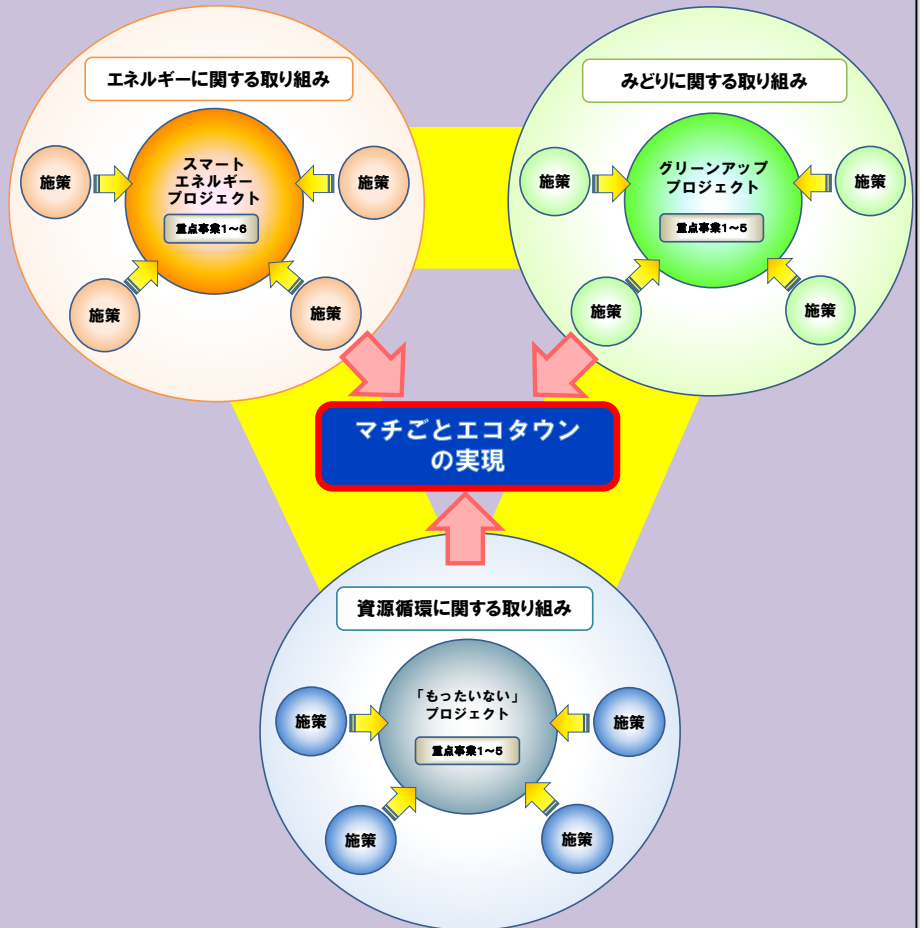
エコタウンの実現に向け、エネルギー・みどり・資源循環の各分野に、「リーディングプロジェクト（優先的に実施する象徴的な取り組み）」を位置づけています。

このリーディングプロジェクトは、構想の取り組み全体を先導的に牽引する役割を持ち、個別の施策から導いた複数の「重点事業」によって構成されています。

#### ■重点事業

重点事業は、この構想に掲げる個別の施策から、以下の視点に基づき選定しました。

- ①先導性：他の取り組みをリードするもの
- ②即効性：直ちに効果が出ること
- ③実現性：実現の可能性が高いこと
- ④継続性：一過性の取り組みでなく継続できること
- ⑤波及性：市域全体への波及効果が高いこと



【解説】 施策の概要

### 第4章 構想の推進

- |        |        |               |
|--------|--------|---------------|
| 1 推進体制 | 2 進捗評価 | 3 エコタウン構想の見直し |
|--------|--------|---------------|

# リーディングプロジェクト

## スマートエネルギープロジェクト

太陽光発電設備の設置などによる市域への再生可能エネルギーの大幅な導入や、従来よりも更に省エネルギーの取り組みを進める等により、エネルギーの有効利用を図るための先導的な取り組みを展開します。

### スマートエネルギープロジェクトの目標指標

目標指標	目標値 (H30)
市域における温室効果ガス排出量の削減率※	3.8%
市域における太陽光発電設備の総発電出力※	19,200kW (累計)

※第2期所沢市環境基本計画改訂版（平成27年3月改訂）にあわせ、目標値の見直しを行っています。

### プロジェクトを構成する重点事業

#### 1 メガソーラー設置運営事業

本市では再生可能エネルギーの中でも太陽光エネルギーの利用可能量が最も多いことから、今後の太陽光発電設備の設置をリードするメガソーラー設置運営事業を行います。

#### 2 公共施設への太陽光発電設備設置事業

災害時に電力などのエネルギー供給を絶やさないようにするため、自立分散型のエネルギーシステムを公共施設に整備します。

#### 3 エコハウス・エコリフォーム促進事業

市域の温室効果ガス排出量の約3割を占める家庭での低炭素化を進めるために、家電製品の省エネや省エネ行動に加え、建物自体の省エネ性能を向上させます。

#### 4 省エネ・再エネ機器導入活用支援事業

省エネルギーの取り組みや再生可能エネルギーの導入をまち全体に広げていくために、家庭・事業所への省エネ・再エネ機器の導入普及を更に拡大していきます。

#### 5 エコカー利用促進事業

交通部門の低炭素化を進める方策として、普及が十分でないエコカー（EV等）の利用促進を図ります。

#### 6 エネルギー・温暖化対策教育プログラム

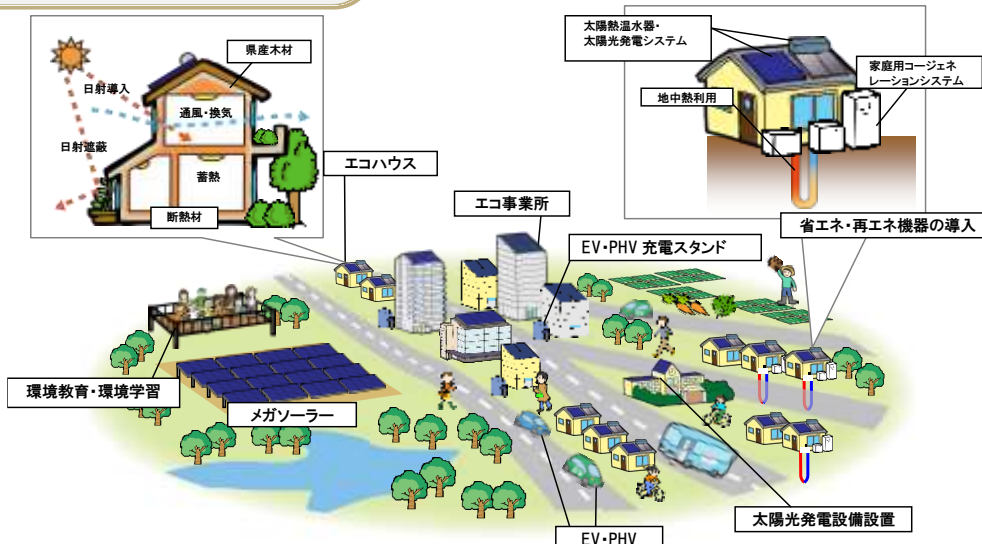
震災以降の節電意識や再生可能エネルギーの導入気運の高まりを受け、環境教育・環境学習の機会を充実し、更なる取り組みの拡大を促していきます。

### 重点事業の目標指標・目標値 (H30)

1	メガソーラー所沢の総発電量	5400MWh (累計)
2	公共施設における太陽光発電設備の総発電出力	1,000 kW (累計)
3	エコハウスの新築及びリフォーム件数	60件 (累計)
4	市内の住宅・事業所に導入する太陽光発電設備の設置件数※	4,000件 (累計)
5	市内のエコカー販売台数	900台 (累計)
6	教育プログラムへの参加により、環境のために行動しようと思った人の割合	85%

※第2期所沢市環境基本計画 改訂版（平成27年3月改訂）にあわせ、目標値の見直しを行っています。

### プロジェクトから導かれるイメージ



## グリーンアッププロジェクト

狭山丘陵の雑木林など本市の豊かなみどりを市民との協働で守り育てるとともに、所沢のみどりのファン（愛好者）を市内外に増やし、更なる取り組みを誘発していくための先導的な取り組みを展開します。

### グリーンアッププロジェクトの目標指標

目標指標	目標値 (H30)
市域における緑地の確保量	2,168ha (累計)
ふるさとの樹の指定本数	50本 (累計)

### プロジェクトを構成する重点事業

#### 1 みどりの里山 再生・活用事業

生物多様性を保全しつつ、市民協働による適切な樹林地の管理を行うことにより、里山の保全・再生を図ります。

#### 2 みどりのパートナー育成事業

狭山丘陵やくぬぎ山などの身近な緑地の保全に取り組むみどりのパートナーの育成を実施し、みどりの保全・創出の取り組みを促進します。

#### 3 公共・公益施設等を利用したみどりの創出事業

本市のまちなかの緑被率は15%であり、みどりが十分でないことから、その創出のために、公共・公益施設等を利用したみどりの創出を行います。

#### 4 所沢エコツアーによる地域活性化と保全の推進事業

本市の自然を観光資源として活用した地域活性化を目指し、所沢の自然に親しむエコツアーを企画・実施します。

#### 5 所沢的都会田舎（とかいなか）ライフスタイルプログラム

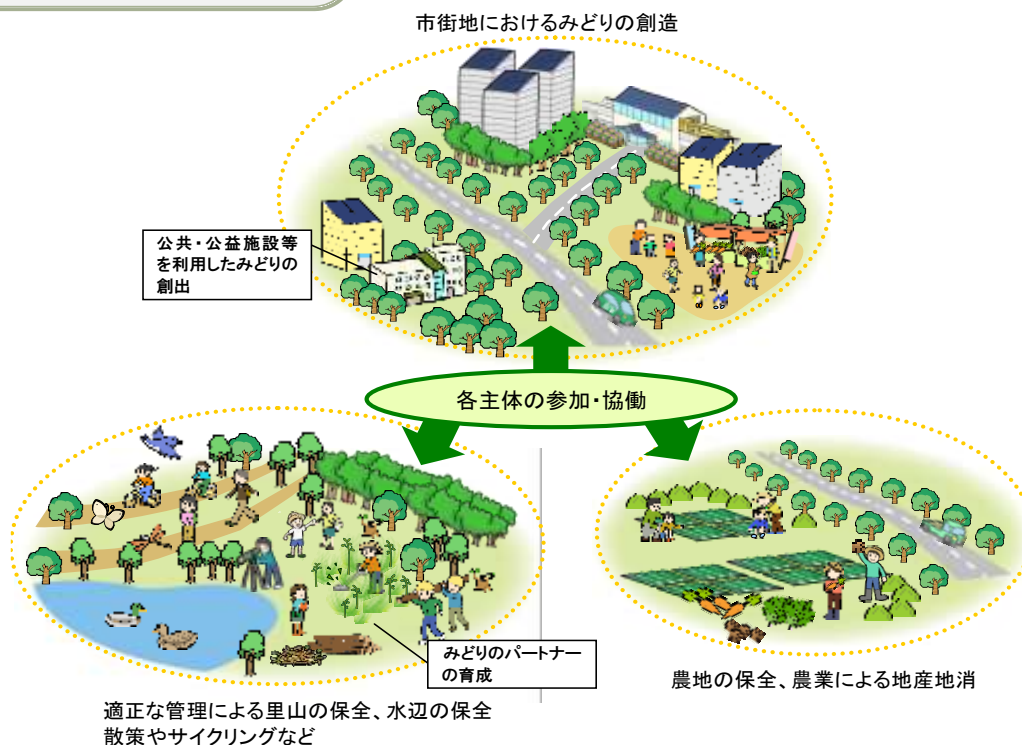
都会的な生活と合わせて自然を享受する生活を送る「都会田舎（とかいなか）」の暮らしを体験してもらい、ふるさとの大切さを理解してもらうプログラムを実施します。

### 重点事業の目標指標・目標値 (H30)

1	市民協働による樹林地管理面積	18ha (累計)
2	みどりのパートナー制度の登録者数*	1,000人 (累計)
3	公共・公益施設等のみどりの創出箇所	10箇所 (累計)
4	エコツアー参加人数	4,000人 (年度)
5	プログラムに参加し、自然への理解が深まったと思った人の割合	85%

※ 第2期所沢市環境基本計画 改訂版（平成27年3月）にあわせ、目標値の見直しを行います。

### プロジェクトから導かれるイメージ



## ♻️「もったいない」プロジェクト

「もったいないの心」を持って、ものを大切に使い、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進により資源の消費を抑制した循環型社会の形成を目指します。

### 「もったいない」プロジェクトの目標指標

目標指標	目標値 (H30)
市民1人1日当たりのごみの排出量	578g/人・日
総ごみ量に対するリサイクル率※	29.1%以上

※第2期所沢市環境基本計画改訂版（平成27年3月改訂）にあわせ、目標値の見直しを行っています。

### プロジェクトを構成する重点事業

#### 1 食品ロスゼロのまち促進事業

「もったいないの心」を大切に、食べ残しなどにより捨てられてしまう食品を減らす取り組みを展開し、食品ロスゼロのまちを目指します。

#### 2 最後までしっかり使用事業<sup>(Re)</sup>

まだ使えるもののリユースを進め、ごみの減量化とともに有効活用ができるよう、最後までものをしっかり使う取り組みを進めます。

#### 3 トコとん資源化推進事業

分別品目の見直し、拠点回収の充実等により、今まで捨てられていたものを資源とする取り組みの促進を図ります。

#### 4 もっと3R行動促進プログラム

分別をはじめ、3Rの大切さを理解してもらうために、特に分別等への関心が薄い若年層を中心とした啓発プログラムを実施します。

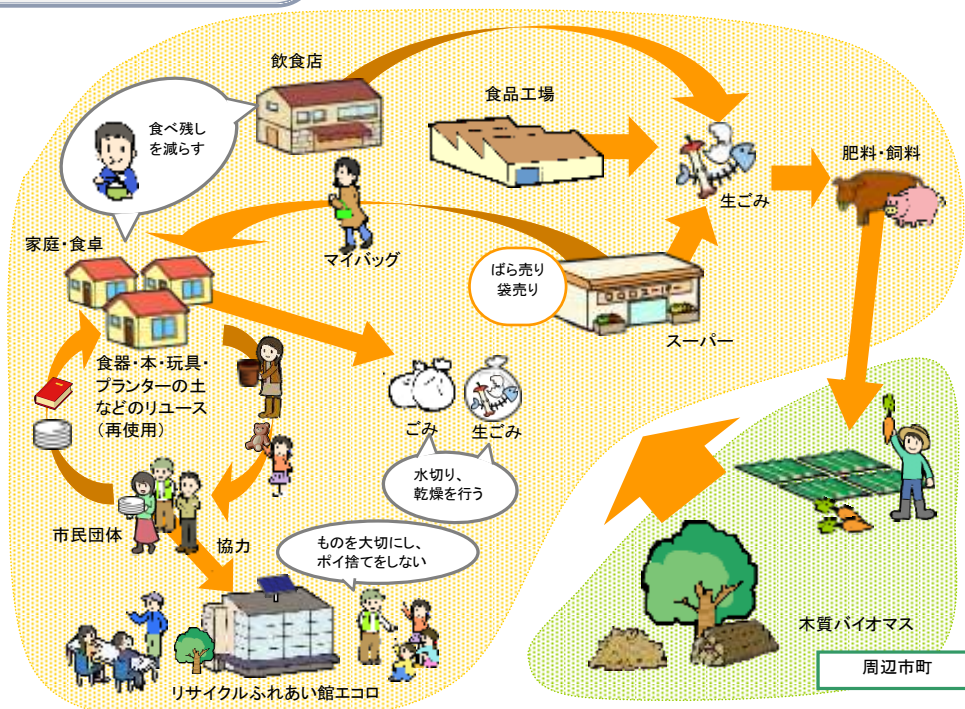
#### 5 「もったいないの心」定着プログラム

市民に3Rの実践を更に進めてもらうことにより、「もったいないの心」の定着を図っていくための啓発プログラムを実施します。

### 重点事業の目標指標・目標値 (H30)

1	協力店舗数	200店 (累計)
2	頒布再生品の利用者数	10,000人 (年度)
3	総ごみ量に対する「燃やせるごみ」の割合	60%
4	プログラムに参加して、3Rの大切さを理解し実践しようと思った人の割合	85%
5	クリーンセンター及びリサイクルふれあい館エコロでのイベント等参加者数	6,000人 (年度)

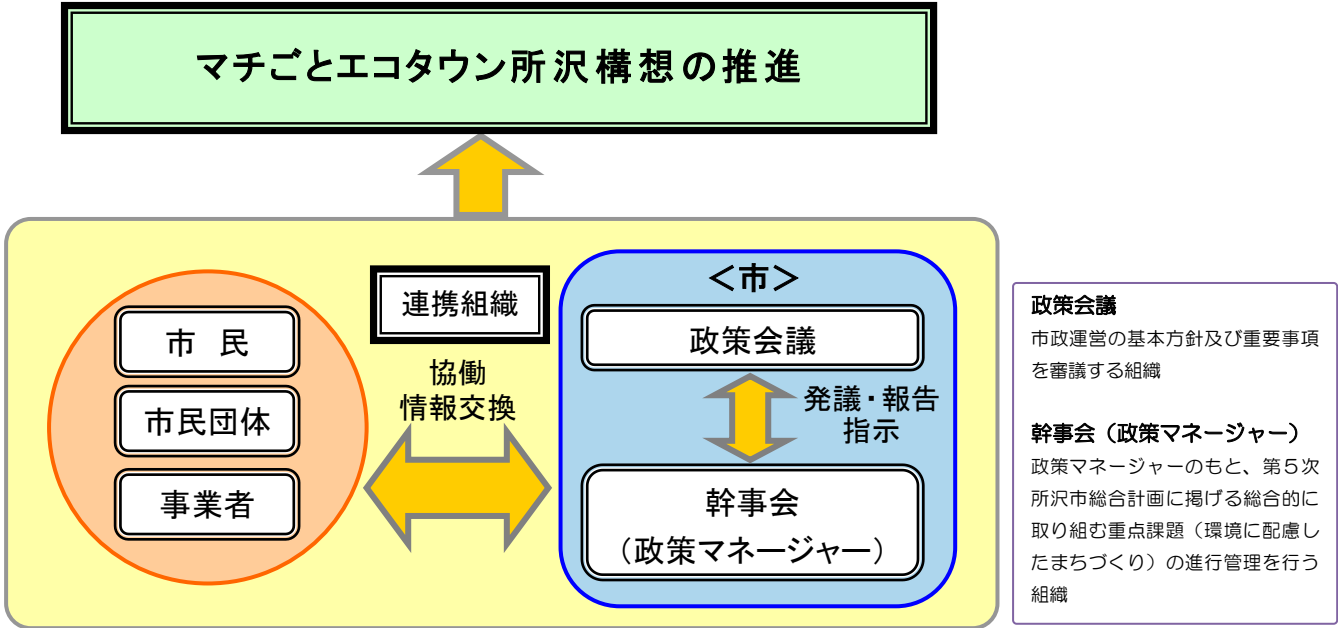
### プロジェクトから導かれるイメージ



## 構想の推進

### ◆推進体制と進捗評価

本構想を推進していくための連携すべき主体や市内の体制を、次のとおり示します。  
 また、エネルギー・みどり・資源循環の各分野のリーディングプロジェクトに掲げた総合的な目標指標や各重点事業に掲げた個別の目標指標を用いて、構想の進捗状況を把握するとともに、事務事業評価などを用いたPDCAサイクルにより、進捗評価を行います。



### ◆構想を推進していく上での各主体の役割

**市民**  
 日頃から、「もったいないの心」を持って生活し、家庭や地域において、本構想に定める取り組みに積極的に参加し、自らがエコ活動の輪を広げていきます。

**市民団体**  
 各種の取り組みを通じて、市民と事業者、行政をつなぐ役割をもちながら、コミュニティを核として、目的に応じた活動を展開します。

**事業者**  
 地域社会の一員として、事業活動におけるエネルギー・資源の過度の利用を抑えるように努めるとともに、エネルギー・みどり・資源循環に関する地域の活動に積極的に参加します。

**市**  
 構想の推進主体であり、構想に定めた施策を推進します。施策の推進に当たっては、市民、事業者の活動を支援する体制や制度を整備し、協働の取り組みを推進します。



発行 所沢市環境クリーン部環境政策課  
 〒359-8501 所沢市並木一丁目1番地の1  
 TEL：04-2998-9133 FAX：04-2998-9394  
 Email：a9133@city.tokorozawa.lg.jp  
 第2版 平成29年3月

**雑がみ** 資源化にご協力  
お願ひします

○この冊子は古紙パルプを配合した再生紙を使用しています。